

畜産統計（平成18年2月1日現在） （埼玉県）

～ 1戸当たりの飼養頭羽数は横ばい又は増加～

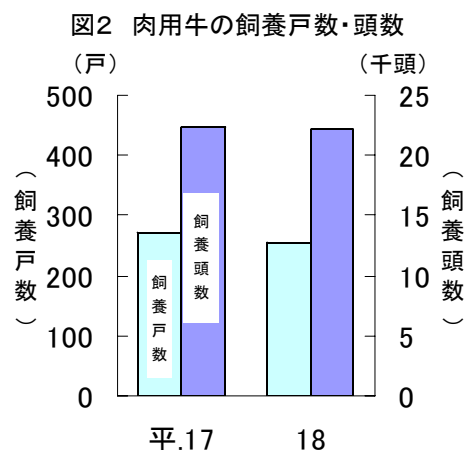
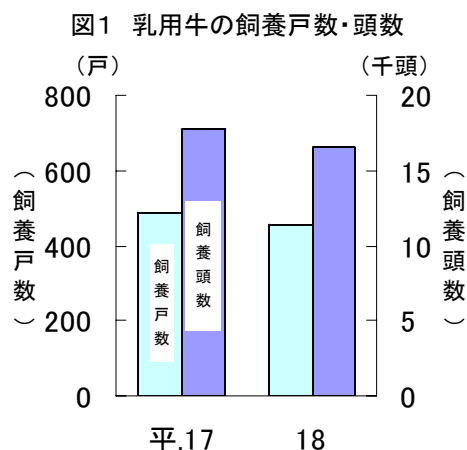
【調査結果の概要】

1 乳用牛

乳用牛の飼養戸数は455戸で、前年に比べ33戸（6.8％）減少した。
飼養頭数は1万6,500頭で、前年に比べ1,200頭（6.8％）減少した。
1戸当たり飼養頭数は、前年並みの36頭となった。

2 肉用牛

肉用牛の飼養戸数は255戸で、前年に比べ16戸（5.9％）減少した。
飼養頭数は2万2,200頭で、前年に比べ200頭（0.9％）減少した。
1戸当たり飼養頭数は、前年に比べ4頭増加し、87頭となった。



○ 肉用牛、乳用牛の区分は、品種区分ではなく、利用目的によって区分しており、乳用牛とは搾乳を目的としている牛（将来搾乳する目的で飼養している子牛を含む。）をいい、肉用牛とは肉用を目的として飼養している牛をいう。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。【http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/0608tikusan_s/tikusan_s.xls】

この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】P10に掲載しています。

3 豚

豚の飼養戸数は183戸で、前回（平成16年2月1日現在。以下豚、採卵鶏について同じ。）に比べ25戸（対前回は12.0%）減少した。

飼養頭数は13万8,900頭で、前回に比べ700頭（0.5%）減少した。

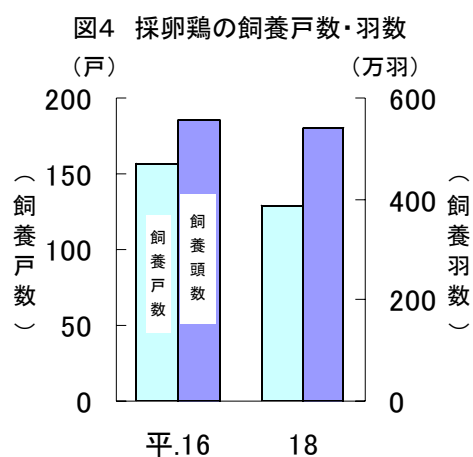
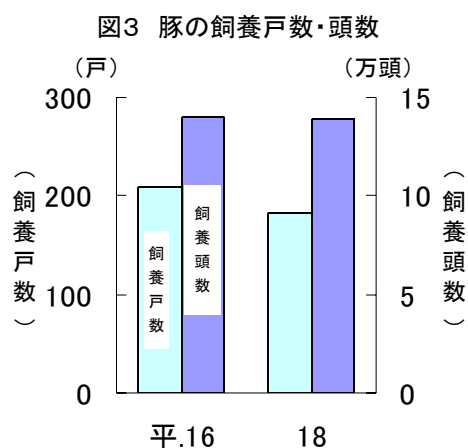
1戸当たり飼養頭数は、前回に比べ88頭増加し、759頭となった。

4 採卵鶏

採卵鶏の飼養戸数は129戸で前回に比べ28戸（17.8%）減少した。

飼養羽数は542万羽で、前回に比べ14万1千羽（2.5%）減少した。

1戸当たり成鶏めす飼養羽数は、前回に比べ1,500羽増加し、2万3,200羽となった。



- 豚の飼養頭数には、子取り用めす豚、肥育豚、種おす豚、その他を含んでいる。
- 採卵鶏の飼養戸数は、種鶏のみの飼養者及び成鶏めす羽数1千羽未満の飼養者を除いたものである。また、飼養羽数については、種鶏を除く採卵鶏の羽数である。
- 豚及び採卵鶏については、平成17年の調査を実施していない。

【解 説】

1 乳用牛

平成18年2月1日現在における乳用牛の飼養戸数は455戸で、前年に比べ33戸（6.8％）減少した。これは、飼養者の高齢化や後継者不足により休廃業があったためである。

飼養頭数は1万6,500頭で、前年に比べ1,200頭（6.8％）減少した。

また、飼養頭数を内訳別にみると、経産牛は1万2,400頭で前年に比べ700頭（5.3％）、未経産牛は4,170頭で前年に比べ450頭（9.7％）、それぞれ減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は前年並みの36頭であった。（詳細は、統計表P6～7参照）

図5 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

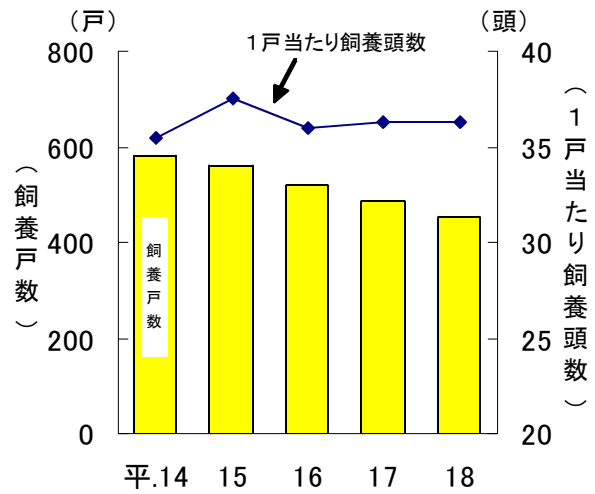


表1 乳用牛の飼養戸数・頭数

単位：戸、頭

区 分	飼 養 戸 数	飼 養 頭 数					1戸あたり飼養頭数
		合 計	経 産 牛			未 経 産 牛	
			計	搾 乳 牛	乾 乳 牛		
埼玉県 平.18	455	16 500	12 400	10 700	1 670	4 170	36
17	488	17 700	13 100	11 400	1 620	4 620	36
対前年比 (%)	93.2	93.2	94.7	93.9	103.1	90.3	0

注：1戸当たり飼養頭数の対前年比欄は対前年差である。

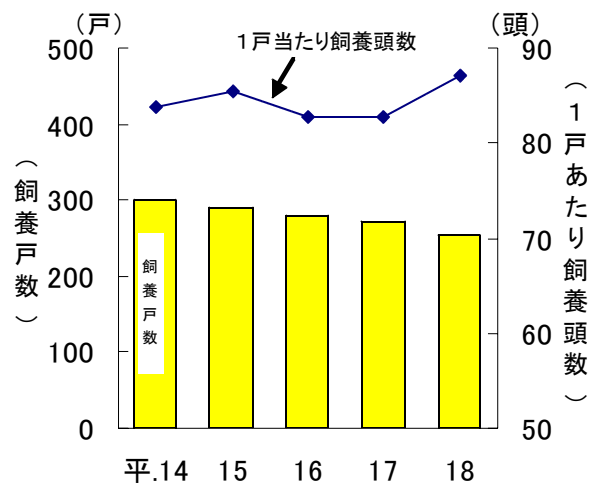
2 肉用牛

平成18年2月1日現在における肉用牛の飼養戸数は255戸で、前年に比べ16戸（5.9％）減少した。これは、飼養者の高齢化や後継者不足により休廃業があったためである。

飼養頭数は2万2,200頭で、規模拡大した飼養者があったことから、前年に比べ200頭（0.9％）とわずかな減少にとどまった。

また、飼養頭数を内訳別にみると、肉用種は5,730頭で前年に比べ50頭（0.9％）増加したものの、乳用種は1万6,400頭で前年に比べ300頭（1.8％）減少した。

図6 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移



なお、1戸当たり飼養頭数は前年に比べ4頭増加し、87頭となった。
 (詳細は、統計表P6～7参照)

表2 肉用牛の飼養戸数・頭数

単位：戸、頭

区分	飼養戸数	飼養頭数					1戸当たり飼養頭数
		合計	肉用種	乳用種			
				小計	ホルスタイン	種他	
埼玉県 平.18	255	22 200	5 730	16 400	5 620	10 800	87
17	271	22 400	5 680	16 700	5 850	10 800	83
対前年比 (%)	94.1	99.1	100.9	98.2	96.1	100.0	4

注：1戸当たり飼養頭数の対前年比欄は対前年差である。

3 豚

平成18年2月1日現在における豚の飼養戸数は183戸で、前回に比べ25戸(12.0%)減少した。これは、飼養者の高齢化等により休廃業があったためである。

飼養頭数は13万8,900頭で、前回に比べ700頭(0.5%)減少した。

また、飼養頭数を内訳別にみると、子取り用めす豚、肥育豚が前年に比べ400頭、300頭増加したものの、種おす豚、その他の豚が前年に比べそれぞれ20頭、1,390頭減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は前回に比べて88頭増加し、759頭となった。(詳細は、統計表P6～7参照)

図7 豚の飼養戸数・頭数の推移

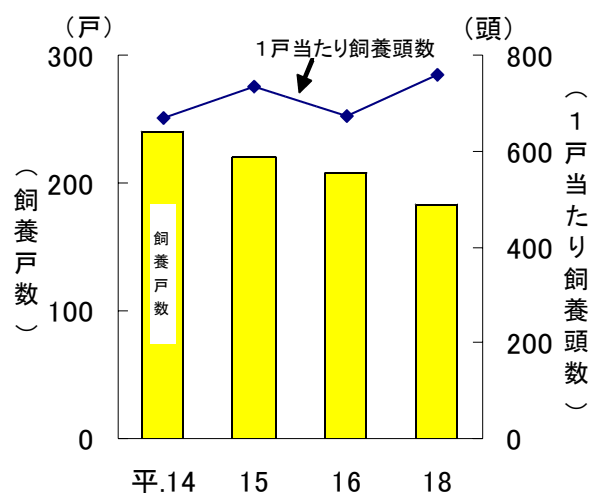


表3 豚の飼養戸数・頭数

単位：戸、頭

区分	飼養戸数	子取り用めす豚のいる戸数	飼養頭数					1戸当たり飼養頭数
			計	子取り用めす豚	種おす豚	肥育豚	その他	
埼玉県 平.18	183	152	138 900	13 300	1 050	119 800	4 740	759
16	208	169	139 600	12 900	1 070	119 500	6 130	671
対前回比 (%)	88.0	89.9	99.5	103.1	98.1	100.3	77.3	88

注：1戸当たり飼養頭数の対前回比欄は対前回差である。

4 採卵鶏

平成18年2月1日現在における採卵鶏の飼養戸数は129戸で、前回に比べ28戸（17.8%）減少した。これは飼養者の高齢化等により休廃業があったためである。

飼養羽数は542万羽で、前回に比べ14万1千羽（2.5%）減少した。

また、内訳にみるとひなが26万5千羽（12.3%）増加したものの、成鶏めすは40万6千羽（11.9%）減少した。

なお、1戸当たりの成鶏めす飼養羽数は前回に比べ1,500羽増加し、2万3,200羽となった。（詳細は、統計表P6参照）

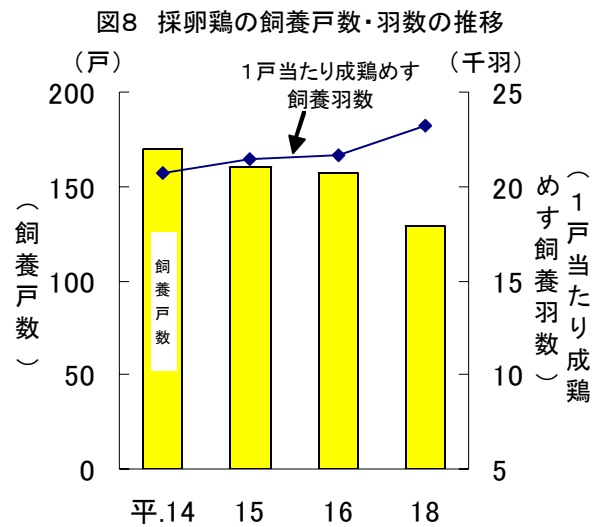


表4 採卵鶏の飼養戸数・羽数

単位：戸、千羽

区 分	飼 養 戸 数	飼 養 羽 数	ひ な		1戸当たり 成鶏めす 飼養羽数
			(6か月未満)	(6か月以上)	
埼玉県 平.18	129	5 420	2 425	2 995	23.2
16	157	5 561	2 160	3 401	21.7
対前回比 (%)	82.2	97.5	112.3	88.1	1.5

注：1戸当たり飼養頭数の対前回比欄は対前回差である。

【統計表】

1 乳用牛の飼養頭数・戸数

区 分	飼養戸数 (1)	飼 養 頭 数					
		合 計 (3)+(8)	成 畜 (2 歳 以 上)				
			計 (3)	経 産 牛			未 経 産 牛 (7)
小 計 (4)	搾 乳 牛 (5)	乾 乳 牛 (6)					
関東農政局平.18	6 020	264 400	205 000	190 800	166 100	24 700	14 200
埼玉県平.14	580	20 600	17 300	16 300	14 100	2 190	980
15	560	21 000	17 000	15 900	13 900	2 040	1 060
16	520	18 700	14 900	13 900	12 200	1 750	930
17	488	17 700	14 000	13 100	11 400	1 620	920
18	455	16 500	13 300	12 400	10 700	1 670	890

2 肉用牛の飼養戸数・頭数

区 分	飼養戸数 (1)	乳用種のある戸数 (2)	飼 養 種				
			合 計 (3)	肉 用 種			おす (7)
				計 (4)	肥育用牛 (5)	めす (6)	
関東農政局平.18	5 490	2 100	354 800	138 900	90 900	65 100	73 800
埼玉県平.14	300	170	25 100	5 100	4 080	2 290	2 810
15	290	200	24 800	5 800	4 910	1 840	3 960
16	279	188	23 100	5 820	4 190	2 190	3 630
17	271	196	22 400	5 680	4 180	2 180	3 500
18	255	163	22 200	5 730	4 210	2 210	3 520

3 豚の飼養戸数・頭数

区 分	飼養戸数 (1)	子取り用めす豚のいる戸数 (2)	飼 養 頭 数				
			計 (3)	子取り用めす豚 (4)	種おす豚 (5)	肥 育 豚 (6)	そ の 他 (7)
埼玉県平.14	240	190	160 900	15 200	1 260	140 100	4 270
15	220	190	161 600	15 600	1 160	134 700	10 100
16	208	169	139 600	12 900	1 070	119 500	6 130
17
18	183	152	138 900	13 300	1 050	119 800	4 740

4 採卵鶏の飼養戸数・頭数

区 分	飼養戸数 (1) 〔種鶏のみの飼養者を除く〕	飼 養 羽 数 (種 鶏 を 除 く)			1 戸 当 たり 成 鶏 め す 飼 養 羽 数 (5)	対 前 年 (前 回) 比	
		計 (2)	ひ な (6 か 月 未 満) (3)	成 鶏 め す (6 か 月 以 上) (4)		飼養戸数 (6)	成鶏めす羽数 (6か月以上) (7)
関東農政局平.18	971	43 703	10 244	33 459	34.5	87.5	93.3
埼玉県平.14	170	5 602	2 078	3 524	20.7	89.5	92.6
15	160	5 669	2 248	3 421	21.4	94.1	97.1
16	157	5 561	2 160	3 401	21.7	96.9	99.4
17
18	129	5 420	2 425	2 995	23.2	82.2	88.1

単位：頭

(めす)		経産牛 頭数割合 (4)/(2)	搾乳牛 頭数割合 (5)/(4)	2歳未満 頭数割合 (8)/(2)	1戸当たり 飼養頭数 (2)/(1)	対前年比		区分
2歳未満 (未經産牛)	未經産牛計 (7)+(8)					飼養戸数	飼養頭数	
(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	
59 400	73 600	72.2	87.1	22.5	43.9	95.3	93.2	平.18関東農政局
3 330	4 310	79.1	86.5	16.2	35.5	95.1	97.2	平.14 埼玉県
4 000	5 060	75.7	87.4	19.0	37.5	96.6	101.9	15
3 790	4 720	74.3	87.8	20.3	36.0	93.0	89.0	16
3 700	4 620	74.0	87.0	20.9	36.3	93.8	94.7	17
3 280	4 170	75.2	86.3	19.9	36.3	93.2	93.2	18

単位：頭

頭数			乳用種 頭数割合 (8)/(4)	交雑種 頭数割合 (10)/(8)	1戸当たり 飼養頭数 (3)/(1)	対前年比		区分
乳	用	種				飼養戸数	飼養頭数	
計	ホルスタ イン種他	交雑種	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	
215 900	61 600	154 300	60.9	71.5	64.6	95.1	99.1	平.18関東農政局
20 000	7 700	12 300	79.7	61.5	83.7	94.0	98.8	平.14 埼玉県
19 000	7 600	11 400	85.5	76.6	60.0	96.7	98.8	15
17 300	5 020	12 300	74.9	71.1	82.8	95.2	93.1	16
16 700	5 850	10 800	74.6	64.7	82.7	97.1	97.0	17
16 400	5 620	10 800	73.9	65.9	87.1	94.1	99.1	18

単位：頭

子取り用めす 豚頭数割合 (4)/(3)	1戸当たり 飼養頭数 (3)/(1)	子取り用めす豚 (4)/(2)	対前年(前回)比		区分
			飼養戸数	飼養頭数	
(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	
9.5	1 140.3	123.1	87.2	99.5	平.18関東農政局
9.4	670.4	80.0	92.3	95.1	平.14 埼玉県
9.7	734.5	82.1	91.7	100.4	15
9.2	671.2	76.3	94.1	86.4	16
...	17
9.6	759.0	87.5	88.0	99.5	18

5 乳用牛

(1) 成畜頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区分	計	1～9頭	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～79	80～99	100頭以上
関東農政局 18	5 850	732	500	600	1 270	1 100	685	682	101	190
埼玉県 平. 14	570	70	68	76	130	86	64	50	-	21
15	550	70	72	60	120	94	76	48	-	20
16	516	52	87	47	110	97	64	45	2	12
17	471	58	35	85	112	58	69	40	-	14
18	434	45	24	102	97	47	50	54	2	13

注：学校等の非営利団体を除いた数字である。（以下同じ）

(2) 成畜頭数規模別飼養頭数

単位：頭

区分	計	1～9頭	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～79	80～99	100頭以上
関東農政局 18	258 900	4 840	7 280	12 500	39 200	47 500	38 600	51 900	11 800	45 300
埼玉県 平. 14	20 300	500	770	1 370	3 880	3 240	3 060	3 430	-	4 070
15	20 800	560	930	1 090	3 260	3 570	3 680	3 620	-	4 060
16	18 300	340	1 140	920	3 140	3 590	3 550	3 210	x	2 240
17	17 500	420	510	1 660	3 400	2 680	3 620	2 680	-	2 500
18	16 300	320	260	2 010	2 880	2 270	2 500	3 420	x	2 490

6 肉用牛

(1) 総飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区分	計	1～2頭	3～4	5～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上
関東農政局 18	5 390	692	647	870	804	403	492	668	400	412
埼玉県 平. 14	300	30	45	50	38	11	20	30	23	51
15	290	20	33	68	30	22	15	34	22	45
16	276	32	19	43	62	19	19	19	29	34
17	268	12	35	70	18	17	31	40	15	30
18	252	9	24	69	23	16	23	35	22	31

(2) 総飼養頭数規模別飼養頭数

単位：頭

区分	計	1～2頭	3～4	5～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上
関東農政局 18	347 400	1 140	2 190	5 600	11 700	9 780	18 000	44 200	55 900	198 900
埼玉県 平. 14	24 500	50	170	340	490	240	740	1 780	2 530	18 200
15	24 300	30	100	390	360	590	570	2 690	2 800	16 800
16	22 600	60	70	300	720	560	780	1 500	4 100	14 500
17	21 800	10	130	460	300	410	1 110	2 760	2 090	14 500
18	22 100	10	100	410	390	370	960	2 280	3 290	14 300

7 豚

(1) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	計	1～299頭	300～499	500～999	1 000～1 999	2 000頭以上
関東農政局 18	2 090	663	296	491	380	264
埼玉県 平. 14	210	88	49	50	12	11
15	190	78	31	55	17	11
16	179	71	29	51	18	10
17
18	158	60	29	43	13	13

注：学校等の非営利団体を除いた数字である。（以下同じ）

(2) 肥育豚飼養頭数規模別飼養頭数

単位：頭

区 分	計	1～299頭	300～499	500～999	1 000～1 999	2 000頭以上
関東農政局 18	2 544 000	94 700	129 600	390 100	570 600	1 359 000
埼玉県 平. 14	151 000	11 900	23 800	43 100	19 600	52 700
15	145 400	13 280	13 000	38 700	23 500	57 000
16	124 100	10 370	12 500	36 500	23 700	41 100
17
18	125 200	9 450	12 600	36 200	18 200	48 800

8 採卵鶏

(1) 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	計	1 000～4 999羽	5 000～9 999	10 000～49 999	50 000～99 000	100 000羽以上
関東農政局 18	858	262	143	291	81	81
埼玉県 平. 14	140	60	32	36	10	8
15	130	50	27	32	8	10
16	134	59	30	28	6	11
17
18	103	45	16	27	4	11

(2) 成鶏めす飼養羽数規模別成鶏めす飼養羽数

単位：千羽

区 分	計	1 000～4 999羽	5 000～9 999	10 000～49 999	50 000～99 999	100 000羽以上
関東農政局 18	33 300	647	1 020	6 665	5 489	19 521
埼玉県 平. 14	3 523	137	214	751	631	1 790
15	3 407	125	158	576	548	2 000
16	3 321	144	193	546	353	2 085
17
18	2 982	x	111	514	244	x

【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、主要家畜に関する規模別・経営タイプ別飼養戸数及び状態別飼養頭羽数等を把握し、我が国の畜産生産の現況を明らかにするとともに、飼養動向を予測するための事項を取りまとめ、畜産行政における施策の策定等に資料を提供することを目的としている。

2 調査の対象

本調査は、全国の乳用牛飼養者、肉用牛飼養者、豚飼養者及び採卵鶏飼養者（成鶏めす1千羽未満の飼養者を除く。）を対象としている。

なお、飼養者が複数の畜種（例えば豚と採卵鶏）を飼養している場合は、それぞれの畜種別に調査の対象とした。

3 調査客体数

調査対象は、都道府県別に学校等の非営利団体とそれ以外の飼養者（以下、「一般飼養者」という。）に分け、一般飼養者は標本抽出により調査客体を選定し、非営利団体は全数を調査客体とした。なお、畜種ごとの調査客体は次のとおりである。

- (1) 乳用牛 : 63客体
- (2) 肉用牛 : 70客体
- (3) 豚 : 89客体
- (4) 採卵鶏 : 94客体

4 調査期日

平成18年2月1日現在で調査した。

5 調査方法

(1) 乳用牛調査及び肉用牛調査

調査員による面接聞き取り調査（学校等の非営利団体については郵送により調査）により実施した。

(2) 豚または採卵鶏調査

郵送により調査を実施した。

6 集計方法

集計は都道府県ごとに行い、関東農政局管内結果は都県結果の積算により作成した。

なお、乳用牛の経産牛、搾乳牛等の状態別頭数、肉用牛の肥育用牛、子とり用めす牛等の目的別頭数については、調査結果及び牛個体識別システムにより得られたデータを基に推計した。

また、牛個体識別システムデータによる把握項目は次のとおりである。

- (1) 乳用牛・・・飼養頭数（計）、乳おす出生頭数、交雑種出生頭数

- (2) 肉用牛・・・飼養頭数（計）、肉用種頭数（黒毛和種・褐色和種・その他）、肉用種めす年齢別頭数、肉用種おす年齢別頭数、ホルスタイン種他頭数（うちめす除く）、交雑種頭数、肉用種出生頭数

7 比較対象年次について

乳用牛及び肉用牛については、前年調査（平成17年2月1日現在）結果を比較年次とした。

豚及び採卵鶏については、前年調査を「2005年農林業センサス」実施年であったことから休止した。このため、比較年次は前回調査（平成16年2月1日現在）結果とした。

8 用語の解説

(1) 乳用牛調査

乳 用 牛

搾乳を目的として飼養している牛（将来搾乳する目的で飼養している子牛を含む。）をいう。

本調査は乳用牛、肉用牛の区分は品種区分ではなく、利用目的によって区分するため、調査対象はめすのみとし、交配するためのおすは除く。

なお、めすの未經産牛を肉用目的に肥育しているものは肉用牛とし、搾乳の経験のある牛を肉用に肥育（例えば老廃牛の肥育）中のものは肉用牛とせず乳用牛に含めた。

成 畜

満2歳以上の牛をいう。

ただし、2歳未満であっても既に分べんの経験がある牛は、ここに含めた。

子 畜
経 産 牛

2歳未満の牛で、分べんの経験のない牛をいう。

分べん経験のある牛をいい、搾乳牛と乾乳牛とに分けられる。

搾 乳 牛
乾 乳 牛

経産牛のうち、搾乳中の牛をいう。

経産牛のうち、搾乳をしていない牛をいう。

なお、搾乳経験のあるの牛で肉用に肥育中の牛（乳廃牛）はここに含む。

未 経 産 牛
分 べ ん 頭 数

出生してから、初めて分べんするまでの牛をいう。

分べんした頭数をいい、正常な分べんのほか、早流産、死産も含めた。

出 生 頭 数

生きて生まれた子牛の頭数をいう。

乳 用 向 け め す

出生した子牛のうち、乳用に仕向けるめすをいう。

乳 用 種 お す

出生した子牛のうち、乳用種のおすをいう。

交 雑 種

出生した子牛のうち、乳用種のめすに肉用種のおすを交配して生産された、いわゆるF1牛をいう。F1めす牛に肉用種おすを交配し生産されたF1クロス牛も含めた。

(2) 肉用牛調査

肉用牛	肉用を目的として飼養している牛をいう。 本調査は肉用牛、乳用牛の区分は、品種区分ではなく、利用目的によって区分するため、乳用種のおすばかりでなく、未経産のめす牛も肥育を目的として飼養している場合は肉用牛とした。 ただし、搾乳経験のある牛を肉用牛に肥育しても肉用牛には含まない。
肉用種	乳用種以外の肉用牛をいう。黒毛和種、褐毛（あか毛）和種、その他に分類し、その他は黒毛和種、褐毛和種以外の肉用種（外国種を含む。）とした。
黒毛和種	毛色・角・ひづめは黒色。肉質は他の品種より優れている。
褐毛和種	毛色は黄褐色から赤褐色。角、ひづめはべっこう色や黒色。
その他	黒毛和種、褐毛和種以外の肉用種。無角和種、日本短角種等の和牛の他、ヘレフォード、アバディーンアンガス等外国牛の肉専用種、肉用種の雑種も含む。
肥育用牛	肉牛として販売することを目的に飼養している肉用種の牛をいう。したがって、ほ乳・育成中の牛でも引き続き自家で肥育する予定のものは肥育用牛とした。
子取り用めす牛	子牛を生産することを目的として飼養している肉用種のめす牛をいう。過去に種付けしたことのあるめす牛及び将来種付けすることが確定している牛である。
乳用種	ホルスタイン種等の乳用種のうち、肉用を目的として飼育している牛をいう。
ホルスタイン種他	交雑種を除く乳用種のうち、肉用を目的として肥育しているおす牛及び未経産のめす牛をいう。
交雑種	乳用種のめすに和牛等の肉用種のおすを交配し生産された、いわゆるF1牛をいう。F1めす牛に肉用種おすを交配し生産されたF1クロス牛も含めた。

(3) 豚調査

豚肥育豚	肉用を目的として飼養している豚をいう。 自家で飼養して肉豚として販売することを目的として飼養している豚をいい、肥育用のもと豚として販売するものは含めない。
------	--

子取り用めす豚	生後6か月以上で子豚を生産することを目的として飼養しているめす豚をいい、過去に種付けしたことがある豚及び近い将来種付けすることが確定している豚である。
種おす豚	生後6か月以上で種付けに供することを目的として飼養しているおす豚をいい、過去に種付けに供したことがある豚及び近い将来種付けに供することが確定している豚である。
その他の	上記以外の豚をいう。また、肥育用のもと豚として販売するものはここに含める。

(4) 採卵鶏調査

採卵鶏	鶏卵を生産することを目的として飼養している鶏をいう。
成鶏めす	生後6か月以上のめすの鶏をいう。 ただし、種鶏の成鶏めすは除いた。
ひな	生後6か月未満のめすの鶏をいい、産卵をしても6か月未満の鶏はここに含めた。 ただし、種鶏のひなは除いた。

9 関東農政局

関東農政局とは、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県及び静岡県等の10都県である。

10 統計表の見方等

(1) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

ア 戸数

原数	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1000)	3けた (100)	2けた (10)	1けた (1)
四捨五入するけた (下から)	2けた		1けた	四捨五入しない		
例						
四捨五入する前 (原数)	123 456	12 345	1 234	123	12	1
四捨五入した数 値(統計数値)	123 500	12 300	1 230	123	12	1

イ 頭数

原数	7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1000)	3けた (100)	2けた (10)	1けた (1)
四捨五入するけた (下から)	3けた	2けた		1けた			
例							
四捨五入する前 (原数)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123	12	1
四捨五入した数 値(統計数値)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	120	10	0

(2) 表中に用いた記号は次のとおりである。

「…」：事実不詳又は調査を欠くもの

「x」：個人、法人又はその他の団体の個々の秘密に属する事項を秘匿するため、統計数値を公表しないもの

11 その他

この資料の数値は概数であり、詳細は追って刊行する『平成18年畜産統計』に掲載する。

○ この統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計データに掲載しています。

アドレス【<http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/2006data.html>】

又は、関東農政局トップページ▶統計データ▶平成18年度

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：関東農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第4係

電話：(代表) 048 (600) 0600 内線3630

(直通) 048 (740) 0062

担当者：北沢

◎農林水産統計全般について

連絡先：関東農政局 統計部 統計企画課 企画第2係

電話：(代表) 048 (600) 0600 内線3613

(直通) 048 (740) 0575